

Information ご利用案内

プラネタリウム投影開始時刻

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 <small>(団体予約がある時のみ)</small>	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日	9:50	11:10 <small>(キッズプラネタリウム)</small>	13:10	14:30 <small>(キッズプラネタリウム)</small>	15:50
学校長期休業中	9:50	11:10 <small>(キッズプラネタリウム)</small>	13:10	14:30 <small>(キッズプラネタリウム)</small>	15:50

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、変更することがあります。プラネタリウムの投影開始時刻等につきましては、ホームページをご確認ください。

休館日

毎週月曜日・第2火曜日
ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。※臨時休館あり

開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

観覧料

大人(高校生以下無料)	
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。
※高齢者割引、障害者割引を行っています。
※明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円(65歳以上)が無料になります。
※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

駐車場

普通乗用車・マイクロバス(約90台):2時間まで200円(以降1時間ごとに100円) / 大型バス(8台):1回1,500円

施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。

交通のご案内



- JR明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C.から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

<https://www.am12.jp/> ツイッター @jstm135e

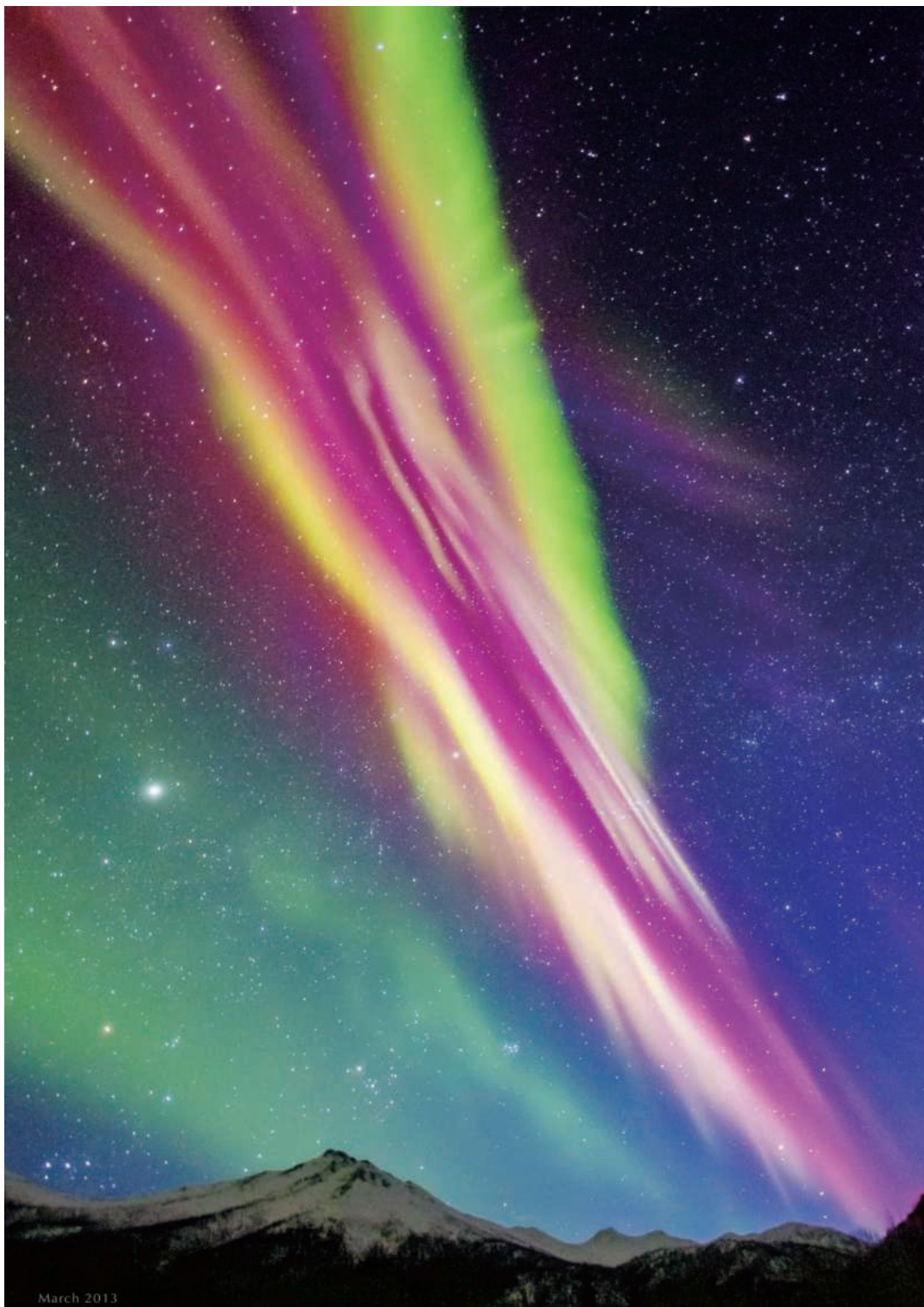
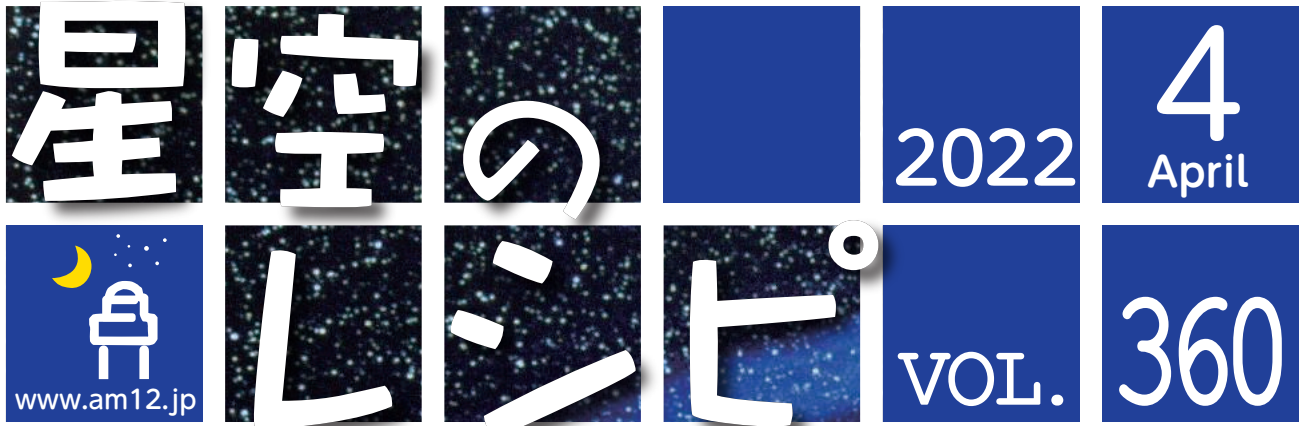
〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: otoiawase-tenmon@city.akashi.lg.jp

星空のレシピ

VOL. 360 2022 4月号

★ 星空のレシピ VOL.360 2022年(令和4年)4月発行
★ 発行/明石市立天文科学館 〒673-0877 明石市人丸町2-6 TEL078-919-5000

明石市立天文科学館 広報誌「星空のレシピ」 時と宇宙を88倍楽しむお料理MOOK



特集

- ① 見てみてーオーロラワンダーランド
- ② 小惑星探査機はやぶさ2帰還カプセル特別展示in明石

不思議な時空であふれる感謝 3月 アラスカ北極圏 撮影:中垣哲也



時間、それは宇宙からの贈りもの
上空2万kmの彼方のGPS衛星で刻まれる10万年に1秒の高精度。
宇宙とつながり、時を知る。衛星電波クロック「セイコー スペースリンク」シリーズ。

SEIKO

お問い合わせ先:セイコータイムクリエーション株式会社 クロックお客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:00 土・日・祝日を除く) <https://www.seiko-stc.co.jp/>



March 2013 Wiseman, Alaska



見てみて! オーロラ ワンダーランド

2022年2月5日(土)から4月3日(日)まで、特別展「見てみて!オーロラ ワンダーランド -中垣哲也・オーロラ写真展-」を開催しています。展示作品をいくつかご紹介します。



ミッドナイト ランデブー 9月 アラスカ北極圏

クマができるか、オーロラが出るか?いい緊張感の中、オーロラ姫がお月様とたわむれます。一瞬で通り過ぎる極北の秋。静かな森の湖は宇宙と融合。明日はまたどんな宇宙劇場が見られるかな?

暁のきらめき

9月 カナダ・ユーコン準州

夏が終わって、白夜の名残を見せる夜空の移り変わりは不思議です。秋の極北の太陽は、地平線からそれほど深くは沈まないために、夜空を魅力的に染めていきます。暁のグラデーションにオーロラが伸びたらシャッターチャンス!



宇宙が魅せる色彩の絶景 9月 カナダ・ユーコン準州

オーロラの形や動きは実に千差万別。気まぐれに、変幻自在に、夜空のカンバスを所狭しとグリーン色の絵の具をまき散らしていきます。ただ発色はほぼ単一で、ほとんどのオーロラは蛍の光のような蛍光グリーンに輝きますが、繊細すぎて人の目にはあまり色を感じません。9割方白っぽく見えると言っていていいでしょう。活動が活発になり、輝きが強くなれば途端にカラフルに見え感激するものです。もし緑色以外に鮮やかな色を感じたら超ラッキーです。

オーロラとの出逢いは一期一会
私が20年間で体験したワンダーランド
二度と再会することはできませんが
私の記憶に、脳裏にしっかり焼き付いた
魅力的な暁の女神たちを紹介します

オーロラメッセンジャー 中垣哲也

オーロラ爆発 2月 アラスカ北極圏

沈黙する満天星。突然、夜空を切り裂くように、光明の荒波が押し寄せてきた。宙が割れて、鮮やかな光が一気に吹き出してくる。閃光の洪水は空いっぱいにあふれだし、大空を所狭しと音もなく激しく乱舞する。活動的なオーロラは、筋のような縦方向の線構造を伴う。オーロラは地球内部から宇宙に伸びる磁力線に沿って光るため、人間が感じるできない磁力が光って見えているようなものだ。



March 2015
Near Yukon River, Alaska

アイスモンスターの想い 3月 アラスカ

人々の生活圏から遙か辺境の地、果てしなく広がる針葉樹は、マイナス40°Cを下回ることも珍しくない永久凍土の大地で数百年もたくましく生き抜いています。今までどれだけのオーロラ劇場を仰いだのでしょうか。風雪の厳しい半年間、雪の重みにじっと耐え、春の訪れを待っています。

12年ぶりの大フレアがもたらした輝き 9月 アラスカ

巨大黒点で起きた大フレアは、2日足らずで地球磁気圏を猛烈に吹きつけ、その相互作用で発生した膨大なエネルギーは磁気嵐に波及。満月の明かりをものともしない強力な輝きは、私の20年のオーロラ人生でもっともきらめいた瞬間。



Q オーロラはどこで見られるの?

オーロラは地球の北極側と南極側に同時に発生しますが、夏は白夜で見ることができません。オーロラは北極・南極を取り巻くように輪を描いて発生しますが、その中心は地球の自転軸の極ではなく、その地理上の北極・南極点から離れた「地磁気の極」を中心にタマゴ型領域に現れます。北半球では北米大陸側に大きくずれており、カナダやアラスカは磁気緯度的にオーロラを見るのに有利です。統計的に見られやすい領域、すなわち地磁気緯度が65~70度のあたりをオーロラベルトと言います。



Q 日本でオーロラが見られることはありますか?

日本ではもっとも北に存在する北海道が有利ですが、ほぼ見られません。極めてまれに、最強型の磁気嵐が発生した場合には、可能性はゼロではありません。下の写真は、撮影地のニュージーランドの上空に出たオーロラではありません。磁気嵐により超高層まで光る活発なオーロラが出ると、普段はオーロラを見ない地域でも地平線から顔を出したオーロラの上の赤い部分だけ見えることがあります。



南半球で遭遇した磁気嵐
4月 ニュージーランド・南島

Q オーロラを見るのにオススメの季節はありますか?

オーロラは1年中発生していますが、極地の夏は白夜で見られません。夏以外なら、いつでもチャンスはあります。単純に、寒いのは大変ですよ。私も同じです。極地の冬は極夜で鬱陶しく、天候も安定しません。一般的なオーロラ観賞ツアーは1~3月が多く、春にあたる3月は晴天率も高くオススメです。晴れた夜は真冬と変わらない厳しい寒さです。オススメは、さほど寒くない秋です。私の場合、9月ごろは毎年絶対に外せない取材のタイミングです。ただし秋は一般的なオーロラ観賞のツアーが少ないことと、晴天率が低いので、滞在日数が少ない一般ツアーでは結果は期待出来ず、関心のある方は熟練者から情報を得るといいでしょう。究極の自然でテントを張って宇宙を独占してオーロラを待つ、一般旅行とはまったく意義が違ってきます。

Q 事前に活発なオーロラが見られる予測などはできるのでしょうか?

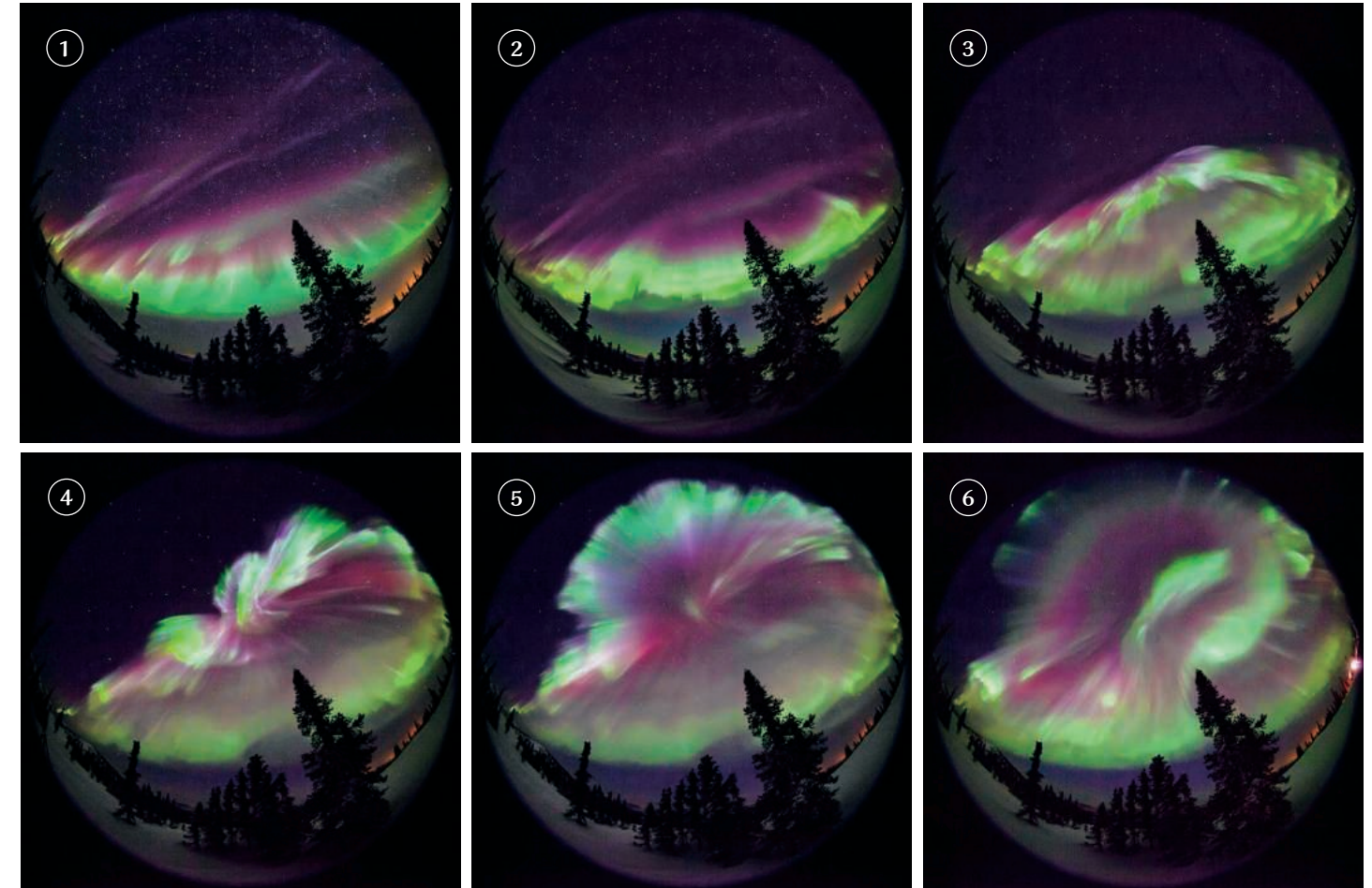
太陽活動が活発になってきた現在(2022年)、黒点が増えて、それによってフレアも多くなってきて、オーロラの活動に波及することも多くなってきました。これから先5年間くらいは太陽活動の極大期となり、オーロラを狙っている人にとってはワクワクするような時代になるでしょう。宇宙天気予報で太陽の活動をいち早く知ることが出来るようになり、太陽表面で大きなイベントがあると2~3日で地球に影響が及んでくることを期待しますが、地球磁場との相性みたいな要素もあり、来てみないとどうなるかわからないといえます。例えば、場外ホームランもあれば、空振り三振もあり得ます。高速の太陽風が地球に向かってくる場合は、大谷翔平がバターボックスで構えている感じ、私も現地でも待ち受ける場合は、気象情報を頼りに何が何でも晴れ間に陣取ります。

ムーンライトワンダーランド
3月 アラスカ北極圏



Q オーロラのダイナミックに変化する様子とはどのようなものですか?

3分程度の間に変化した全天の様子です。オーロラ爆発は爆発的に明るくなり、爆発的にスピードが速く動き出し、爆発的に空いっぱいになり、見るものを圧倒します。



Q オーロラ撮影をされている中での食事など、思い出のエピソードはありますか?

秋は空の下で優雅に食事です。これだけあれば一週間は食べていけます。栄養のバランスもいいでしょう?



9月末、標高が高いポイントでは真冬の寒さ。アラスカ山脈を眺めながら暖かい食事をいただくのは元気の源。体感マイナス20℃の環境で、レトルトではなく、材料からミートソースをつくるこだわりよう。



中垣 哲也 オーロラメッセンジャー

1961年生まれ、札幌在住。診療放射線技師として大学病院に勤務しながら、趣味として星景色の撮影を続ける。2001年、ニュージーランドで遭遇した真っ赤なオーロラに導かれ、北米通いを始める。北米、ニュージーランド、北欧へオーロラの取材を重ね、20年間の太陽活動の起伏と、宇宙の中の地球を実感してきた。2007年春に医療から転身、唯一無二のオーロラメッセンジャーとして『奇跡の地球』『自然への畏敬の念』を全国に伝える活動を15年間継続中。撮影はもちろん、映像・制作・公演など、取材から各地へ届けるまでの全てのプロセスを自身で手がける。

小惑星探査機はやぶさ2 帰還カプセル特別展示 in 明石

小惑星探査機はやぶさ2(タッチダウン)©池下章裕



玄関前フォトパネル

2022年1月21日から25日までの5日間、小惑星探査機はやぶさ2の帰還カプセルの特別展示を開催しました。この帰還カプセルは、はやぶさ2がサンプリングした小惑星リュウグウの砂を地球に届けてくれた、人類の宝とも言える貴重なカプセルです。5日間で、2200人を超える方々が、6年間・52億kmの旅の後、地球に帰還したカプセルに入りました。

明石にカプセルがやってくる!

帰還カプセルは、世界で唯一の貴重な財産です。展示に際し、24時間の空調管理や警備体制など、いろいろな条件がありました。一番工夫が必要だったのは、展示ケースと来場者の間隔を1.5メートル以上とることです。当館は、決して広い科学館ではありません。検討の結果、細長い特別展示室の中央に4つの展示ケースを設置し、両方向から挟むように見学してもらうことにしました。展示ケースが大きく、当館のエレベーターに乗らないパラシュートは1階ロビーに展示することにしました。重要なポイントの一つに、新型コロナウイルスへの感染対策もありました。混雑を避けるため、一度に特別展示エリアに案内する人数を30名とし、15分ごとに案内することにしました。限られた時間の中で、カプセルをじっくりと見ていただくために、詳しい解説パネルやカプセル回収などの映像は、別のエリア(天文サロン)に展示しました。

条件の一つに「設置・搬出作業は外部から見えないように工夫・配慮すること」がありましたが、当館には、専用の搬入路がありません。搬入・搬出の両日を休館日としました。まさに、初めて尽くしの特別展示です。そして、迎えた1月20日。振動を吸収するエア・サスペンション付きのトラック2台が天文科学館に到着し、搬入作業がはじまりました。ついに、帰還カプセルが明石市立天文科学館に設置されたのです。



搬入のようす(トラック2台)



パネルなど展示風景(3F天文サロン)



展示風景(3F特別展示室)

特別展示in明石、はじまる!

1月21日、いよいよ、明石での帰還カプセル特別展示がはじまりました。初日は平日ということもあり、大きな混雑もなく、案内ができました。来場された方々は、帰還カプセルのみならず、展示パネルにも入り、はやぶさ2の探査に思いを馳せていました。

そして2日目の土曜日。初日とは違い、前日までの事前申込で予定の定員に近づいており、館内は開館時刻から賑わいました。初日のアンケートで「説明がほしい」といった意見があったため、2日目からは、特別展示エリアに案内する前の待機スペースで、パネルを使った展示物の解説をはじめました。これは「とてもわかりやすかった」と評判でした。この5日間、プラネタリウムの内容を特別投影に変更し、はやぶさ2の話題を紹介したこともよかったようです。2日目からの変更点もう一つあります。カプセルの写真撮影ができないことから、玄関前(屋外)には幅4.2メートルの大きなフォトパネルを設置していたのですが、2日目には、カプセルの実物大パネルなども用意し、一緒に記念撮影ができる撮影スポットを増やしました。

初日に混雑なく案内ができたことや、事前申込をせずに当日に来館される方もいたことから、土日には、案内する時間枠を増やすなどの対応をして、日曜日の参加者は800人を超えました。この期間、親子で宇宙に思いを寄せる家族や、双眼鏡(あるいは単眼鏡)を手にするだけ細部まで観察しようとする人など、帰還カプセルを前に、それぞれに時間を過ごしていただけたようです。



記念撮影スポット



待機スペースでの説明のようす



展示室のようす



「早起きは天文の得~惑星大集合~」

今年の春は、惑星たちの共演が楽しめるぞ。
朝、早起きをして空を見上げてみよう!

Q 惑星はいつも同じ頃に見えるの?

太陽のまわりを回っている惑星は全部で8個だ。このうち、望遠鏡などを使わずに、見ることができるのは、水星・金星・火星・木星・土星だ。惑星たちは、星座を形づくる星々の間を動いていくように見えるぞ。そのため、「毎年決まった時期・決まった季節に見られる」ということはなく、年によって見ごろの時期が変わっていくんだ。



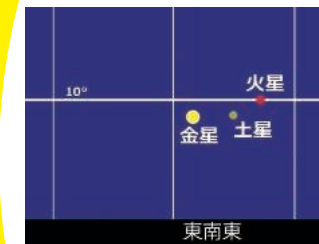
シゴセンジャー ブルー

惑星たちの最初の文字をつなげて、「すい・きん・ち・か・もく・どっ・てん・かい」と覚えるといいぞ!



Q 今年の春はどの惑星が見えるの?

明け方の東の空に、金星や火星、土星などを見つけることができるぞ。



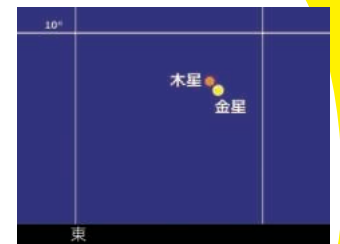
【4月1日 午前4時半ごろ】
火星・土星・金星が見えるぞ!



【4月15日 午前4時ごろ】
土星・火星・金星が見えるぞ!



【4月27日 午前4時ごろ】
土星・火星・金星・木星が見えるぞ! 望遠鏡では、海王星も見えるんだ。4月25日から27日には、惑星たちの近くに月が並んで見えるぞ。



【5月1日 午前4時ごろ】
5月1日には、金星と木星がすごく近くに並ぶぞ!



シゴセンジャー レッド

惑星たちは、1か月の間に、どんどん並び方が変わっていくぞ。毎日の変化にも注目だ!



「惑星(わくせい)をみてワクワクせい」とか言ったりしてな、わははははは!

ブラック星博士

トライやるウィーク(明石市内 中学校2年生対象)

2021年11月10日(水)~12日(金)

今年はカレンダーの関係で例年4日間実施の活動が3日間になってしまいましたが、例年の活動内容に負けないように活動計画を練り直し、実施しました。市内の4中学校より2名ずつ計8名の生徒が参加しました。館内やプラネタリウム見学はもちろん、接客業務や整備業務も体験してもらいました。また、館内見学を通してより説明を加えた方がわかりやすいと感じた展示についての案内板を作成し、実際に展示してもらいました。是非、当館にてご覧ください。そんなやる気に満ちた中学生が1番緊張したと口をそろえて言っていたのが館内放送でした。しかし、みなさんは本番に向けて練習に励み、見事にやり遂げた姿に感心させられました。最終日はまとめのプレゼンテーションを全員が行い、全ての活動を終えた時、達成感に満ちた笑顔が見られました。みなさんの今後のさらなる成長を楽しみにしています。



部分月食・LIVE配信

2021年11月19日(金)

天文科学館16階観測室より、解説をしながら、部分月食のライブ配信を行いました。今回は、月の98%まで欠ける、ほぼ皆既月食に近い部分月食。月がまだ地平線の下にある頃に月食が始まり、月が欠けた状態で昇ってきました。晴天に恵まれ最後まで中継することができました。中継の途中には、国立天文台ハワイ観測所の臼田・佐藤功美子さん、田中壱さんにオンラインで出演いただき、ハワイ・マウナケア山における月食の状況やすばる望遠鏡のお話をいただきました。ハワイでは、月食とすばる(プレアデス星団)とすばる望遠鏡という「すばらしい」景色を楽しむことができました。



高校生によるプラネタリウム解説動画配信

2021年12月18日(土)

県内10校64名の高校生たちが「プラネタリウム解説動画コンテンツ」の作成に挑戦しました。これは、明石北高等学校(スーパーサイエンスハイスクール指定校)と県教育委員会が実施するプログラムのひとつです。プラネタリウム投影見学やオンライン講座の後、試行錯誤をしながら、各校・各グループで解説動画を作成していきました。できあがった動画のテーマは、星座や流星群、惑星、探査機、天文学の歴史、ブラックホールなど様々です。それぞれに、伝えたいことをわかりやすく、そして楽しく伝える工夫が盛り込まれていました。12/18に配信した20本の解説動画は、天文科学館のYouTubeチャンネルで見いただくことができます。



クリスマスナイトミュージアム

2021年12月25日(土)

クリスマスの夜にプラネタリウムで、辛島すみ子with Friendsのジャズコンサートを開催しました。会場に集まった参加者には、満天の星と共に生演奏を行う演出や、映像に合わせた音楽、「Jingle Bells」などの定番のクリスマスソングを含む、11曲の演奏を楽しんでいただきました。最後にはクリスマスプレゼントとして、サプライズソングも披露され、大いに盛り上がったコンサートとなりました。



熟睡プラ寝たリウム

2021年11月23日(火・祝)

日頃お疲れの皆さんを、解説者が手練手管を駆使して熟睡へと誘うイベント「全国一斉熟睡プラ寝たリウム」が、今年も開催されました。2011年に当館から始まったこのイベントは、今年は過去最多の55施設で行われ、各地で盛り上がりを見せています。天文科学館では、勤労感謝の日である11月23日の午後に、特別投影「熟睡プラ寝たリウム」を3回実施し、静かな音楽や穏やかな解説とともに星空の下でゆったりとした時間を過ごしていただきました。投影後にはアンケートが行われ、熟睡率が公式Twitterで発表されたほか、出口前では参加者に熟睡証明書と完徹証明書が配られました。



~天文科学館×県立図書館~

親子で天体かんそく

2021年12月12日(日)

県立図書館とコラボレーションイベントを行いました。親子で望遠鏡を工作し、図書館の資料を使って、月や星・宇宙の調べ方を学びました。最後は、普段入ることができない、図書館の屋上から、自分で作った望遠鏡で月や星を観察する・予定でしたが、空一面雲に覆われてしまい、明石の街の看板や建物を目標にして、望遠鏡の操作を練習しました。



正月開館

2022年1月1日(土・祝)~3日(月)

1月1日(土・祝)~3日(月)、正月開館を実施しました。11時から15時の開館時間の中で、3回「新春プラネタリウム」投影を行いました。各回で今年見られる天文現象の紹介などを行いました。中、中でも2回目はキッズ向けということもあり、親子三代で楽しんでいる方がたくさんいました。また、毎年恒例の福袋と宇宙食の販売を行いました。今年の福袋は、パッケージに天文科学館が描かれたお菓子の詰め合わせセットも入っており、連日完売となりました。新年早々たくさんのお客様にご来館いただき、天文科学館にとってもめでたいお正月となりました。



シゴセンジャー(秋場所・冬場所)

2021年11月6日(土)~7日(日) /

2022年1月8日(土)~10日(月・祝)

よい子のみんなが大好きなシゴセンジャー!秋・冬場所ともに予定通り実施しました。どちらも事前予約でほぼ満席の状態でした。定員数を増やし、終了後の写真撮影も復活させました。解説員がその日に見る星空の解説をしていたところ、プラネタリウムを乗っ取り、寒いダジャレを連発し、星空をめっちゃくちゃにしようとするブラック星博士。それを阻止し、お客様を守るべく登場したシゴセンジャーブルー。しかし、ブラックのダジャレにブルーは苦戦…。そんな中、シゴセンジャーレッドの登場で形勢逆転!?次回の春場所では、どんな戦いが繰り広げられるのでしょうか。



「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

広い視野で使いやすい
6倍、8倍の入門機

YF II series

星が見えにくい都市近郊でも
双眼鏡を使うことで
肉眼では見えなかった
多くの星たちが見えてきます

**感動・視体験
コーワ双眼鏡**

防水

YF II 30-6 (6×30)
希望小売価格(税別) ¥14,000

YF II 30-8 (8×30)
希望小売価格(税別) ¥15,000

優れた光学性能を
高いコストパフォーマンスで実現

SV II series

コーワは60年以上にわたり光学機器を製造する
双眼鏡のトップブランド企業です

防水

SV II 32-8 (8×32)
希望小売価格(税別) ¥25,000

Kowa Binoculars

http://www.kowa-prominar.ne.jp

Kowa 興和オプトロニクス株式会社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目11番1号 東興ビル TEL:03-5614-9540

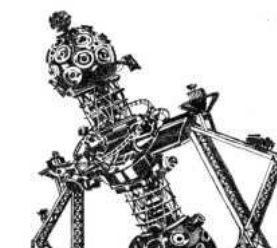
館長エッセイ

2022年はプラネタリウム99周年です。1923年10月21日、近代的な光学式プラネタリウム「ツァイスI型」がドイツのCarl Zeiss社で開発され、ドイツ博物館で関係者向けに試験公開されました。白昼に大自然の星空が出現したようすを見た人々は大絶賛し、「イエナの驚異」と語られました。その後改良がくわえられ、1925年5月7日ドイツ博物館にプラネタリウムが常設され、大人気になりました。誕生から約1世紀、プラネタリウムは世界中に広まり、大きく発展していきました。世界プラネタリウム協会(IPS)では2023年から2025年にかけて、プラネタリウムの100周年を祝う記念事業を行うことになってい



Carl Zeiss Planetarium Models I

ます。日本プラネタリウム協会(JPA)でも記念事業の準備計画が進んでいます。明石市立天文科学館のプラネタリウムは、旧東ドイツのCarl Zeiss Jena社製「UPP23/3」。ツァイス・プラネタリウムの歴史的名機です。開館した1960年に設置され現役稼働していて、長寿日本一(アジアでもナンバーワン)です。ファンからは「イエナさん」の愛称で親しまれている当館のプラネタリウム。プラネタリウム100周年の事業でも頑張ります!



Carl Zeiss JENA UPP23/3

プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったおはなしをわかりやすく紹介します。

早起きは天文の得～惑星大集合～

4月1日(金)～4月30日(土)

2022年の春、夜明け前の東の空で、土星・火星・金星・海王星・木星などの惑星たちが大集合します。4月下旬には、各惑星と月が並んだり、5月1日には木星と金星が大接近をするなど、見どころがいっぱいです。早起きをして楽しめる惑星たちについて紹介します。

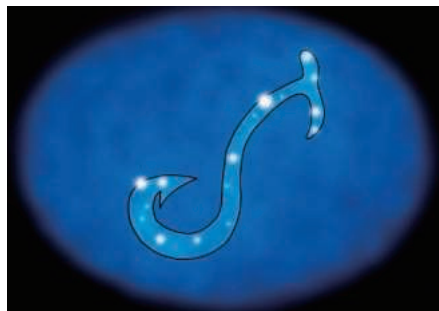


2022年4月中旬 午前4:30頃の空

世界の星と伝承

5月1日(日)～5月31日(火)

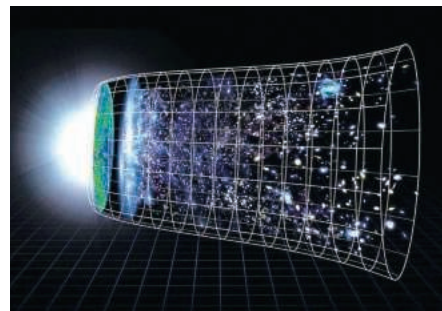
世界には、ギリシャ神話の他にも、星座とともに伝えられる物語があります。さそり座の星の並びは、ポリネシア諸島では天地創造の神マウイがニュージーランドを釣り上げた釣り針だと伝えられています。世界に伝わる星のお話を紹介します。



138億年宇宙の旅

6月1日(水)～6月30日(木)

宇宙は、今から138億年前に誕生しました。膨張を続ける宇宙の中で、星や銀河などの天体が生まれます。太陽系や地球は、46億年前に誕生しました。やがて、地球には生命が誕生しました。138億年の宇宙の歴史をたどります。



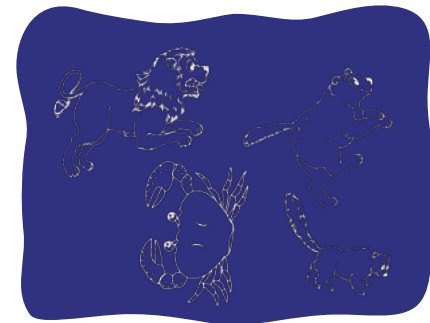
©NASA

キッズプラネタリウム 幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日の第2回目と学校長期休業中(3月25日～4月6日)の第2、第4回目の投影に実施します。また、4月9日からは土曜・日曜・祝日の第2、第4回目の投影に実施します。

ほしぞらどうぶつえん

3月5日(土)～4月17日(日)

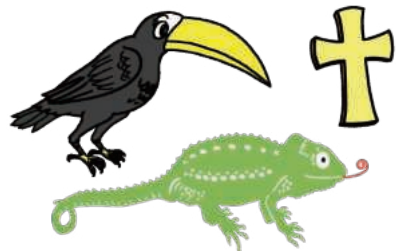
春の空にはいろんな動物の星座があります。みんなで見つけてみましょう。



みなみのくにへほしぞらツアー

4月23日(土)～5月29日(日)

明石を飛び出し、南半球で見られる星座を探しに行きましょう! ※5月14日(土)・15日(日)の11時10分～は、「軌道星隊シゴセンジャー」のキッズプラネタリウムになります。



たなばたアワー

6月1日(水)～7月7日(木)

たなばたの物語や、夏の星座、宇宙のお話をわかりやすくお話しします。 ※平日は団体予約がある場合9時50分～/11時10分～の投影があります。 ※6月10日は時の記念日のため「たなばたアワー」はありません。



こども天文教室

下記の日程の9:50～のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。

- ・4月23日(土)「はじめての天体観察」
- ・5月28日(土)「太陽のことをしりたいよう」
- ・6月25日(土)「月のひみつにつきあって」



星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と星空をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。【事前申込】

- 日程 ・5月21日(土)13時10分～
- ・6月18日(土)13時10分～
- 参加費:入館料のみ

Event Calendar

4月	5月	6月
4月1日(金)～4月30日(土) 「早起きは天文の得～惑星大集合～」	5月1日(日)～5月31日(火) 「世界の星と伝承」	6月1日(水)～6月30日(木) 「138億年宇宙の旅」
★～4月17日(日) 「ほしぞらどうぶつえん」	★4月23日(土)～5月29日(日) 「みなみのくにへほしぞらツアー」	★6月1日(水)～7月7日(木) 「たなばたアワー」
🌿4月9日(土)～5月22日(日) 「つむらさんのおすすめ! 四季のほしぞら名所案内」	📸5月28日(土)～7月10日(日) 「写真展「時計のある風景」」	
🔭4月23日(土)【事前申込なし】「はじめての天体観察」	🔭5月28日(土)【事前申込なし】「太陽のことをしりたいよう」	🔭6月25日(土)【事前申込なし】「月のひみつにつきあって」
🔭4月9日(土)【事前申込】	🔭4月22日(金)【事前申込】	🔭5月14日(土)【事前申込】
	📺5月21日(土)13時10分～【事前申込】	📺6月18日(土)13時10分～【事前申込】
	🎵5月14日(土)・15日(日)【事前申込】「軌道星隊シゴセンジャー 臈月場所」	🕒6月10日(金)「時の記念日」

略号 プラネタリウム一般投影 キッズプラネタリウム 特別展 こども天文教室 星と音楽のプラネタリウム 季節イベント 観望会 ナイトミュージアム

※新型コロナウイルスの影響等により、予定を変更する場合はホームページ等でお知らせします。

休館日のお知らせ	4	5	6
赤文字:開館 青文字:休館	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

天体観望会の実施日・申し込みについて

- ◆実施日時・申込方法の詳細についてはホームページをご覧ください。
- ◆参加費 1人 300円

駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

臨時開館・休館のお知らせ 5月2日(月)は開館し、5月11日(水)・5月17日(火)は休館いたします。

ベビープラネタリウム

乳幼児(0～4歳くらいまで)のお子さんと保護者の方が対象のプラネタリウムです。親子で一緒にプラネタリウムをお楽しみください。

- 日程 ・4月16日(土)10時～
- ・5月13日(金)10時～
- ・5月27日(金)10時～
- ※投影時間約30分【事前申込】
- 参加費:入館料のみ

詳しくは当館ホームページをご確認ください。



その他のイベント

軌道星隊シゴセンジャー 臈月場所

キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場! 【事前申込】

- ・5月14日(土)11時10分～
 - ・5月15日(日)11時10分～
- 詳しくは当館ホームページをご確認ください。



特別展

つむらさんのおすすめ! 四季のほしぞら名所案内

4月9日(土)～5月22日(日)

四季の星空の見どころを星空の達人津村光則さん撮影の天体写真で紹介いたします。



写真展「時計のある風景」

5月28日(土)～7月10日(日)

時計は、広い地域の人々が同じ時を共有するために欠かすことができません。時計のデザインには、その地域の伝統や文化、歴史が反映され、街によって様々です。時・時計の歴史が専門である国立科学博物館・佐々木勝浩名誉研究員が撮影した時計のある風景写真を展示します。

